

審 議 会 等 の 会 議 結 果 報 告 書

課所名

企画政策課

会議名 令和4年度 第1回 諏訪市行政改革推進委員会

開催日時 令和5年3月27日(月) 午前11時～午後0時15分

出席者 佐久会長、小池職務代理、飯田委員、大島委員、小松委員、酒井委員、田中委員、西田委員、増田委員、宮下委員、矢崎委員、山谷委員、山村委員(以上13名)
金子市長、前田企画部長、柳平企画政策課長、唐木田スマート化推進係長、平林スマート化推進係主査、岩田スマート化推進係主査、田中スマート化推進係主事
(欠席委員)倉嶋委員

資料

- ・資料1 諏訪市行政改革推進委員会について(事務局説明)
- ・資料2 第六次諏訪市総合計画について
- ・資料3 庁内推進体制
- ・資料4 諏訪市公共施設等総合管理計画
- ・資料5 業務スマート化プロジェクト
- ・資料6 組織・職員配置について

協議議題(内容)及び会議結果(要旨)

1. 開 会(進行:企画政策課長)

2. 市長あいさつ(金子市長)

日頃から諏訪市に対しまして的確なご指導、ご支援を賜っていますことを厚く御礼申し上げます。令和4年度の行政改革推進委員会は、委員の改選後において本日が初の開催となりました。コロナ感染症が3年間以上続いていましたが、ここへ来てマスクの着用につきましても諏訪市は3月13日から自主判断にしています。

令和4年度から5か年の諏訪市第六次総合計画がスタートしました。皆様には2年任期、令和6年12月までということで委嘱状を交付させていただいております。令和3年度まで委員会で進行管理を行っていただいた行政改革大綱は、総合計画に統合となりました。住民福祉向上のために、市民満足度の向上、透明度日本一のまちという私のマニフェストのキャッチを含めて、引き続き積極的に行政経営の適正化に努めてまいります。世の中はデジタル改革が急速に進み、行政改革とデジタル改革、デジタル・トランスフォーメーションは非常に関連が多くなってきました。そこで、諏訪市では業務スマート化という言葉を使い、組織においてもスマート化推進係を専門に設置し、ここ数年の間に様々な取組を進めているところです。行革とスマート化を一体的に進めていきたいと思っております。これまで行革大綱の進捗管理、行政評価の委員選出など大きな役割を果たしていただいた行政改革推進委員会の役割にも変化が生まれますので、本日の会議においてご報告、ご相談を申し上げます。

本日は、久しぶりの開催でもありますので、委員各位から遠慮なくご意見を伺えると幸いです。どうぞよろしくお願いします。

3. 自己紹介

4. 諏訪市行政改革推進委員会について(資料1)(事務局説明)

行政改革推進委員会は、条例に基づき、幅広い団体より委員を選出いただき、行政改革の推進に関する重

要事項を調査審議していただいている。庁内組織である行政事務改善委員会での取組状況をご報告し、ご意見やご提案をいただきながら改革を推進し、また、市の施策に対する外部評価委員も選出していただいた。委員会での中心的な議題は、行革の羅針盤「諏訪市行政改革大綱」であった。行政改革に関する理念をまとめたもので、令和3年度までこの大綱に基づく取組を推進してきた。令和4年度より、行政改革大綱は第六次諏訪市総合計画に統合となった。大綱が総合計画に一元化されたことで、行政改革推進委員会の役割が変わる。委員会では総合計画に基づく行政経営の施策方針、その他行政改革の推進に関する重要事項について審議をすることとなる。庁内組織も見直し、行政事務改善委員会を「業務スマート化推進委員会」と改め、関連する取組を一元的に進めていく。行政改革推進委員会は行政改革に関する部分、重要事項について審議をお願いし、市政全体の羅針盤である総合計画の進行管理に関しては内部検証委員会と外部検証委員会を新たに立ち上げる。

5. 会長及び職務代理者の選任

○会長あいさつ

1年数ヶ月、行革の委員会をしていないのでどうなったのだろうという気持ちがありました。今回こうして委員会の開催となりました。顔ぶれもだいぶ変わりました。皆さんの積極的なご意見を頂戴して、諏訪市の行革がスムーズに進みますようお知恵をいただきたいと思います。行革というと物々しい感じはしますが、諏訪市が素晴らしい市として発展をしていく、その中で様々な組合せがあるが、監視をきちんとしていく、意見を言える、そういう立場がないといけないと思います。どうか皆さんの真摯たるご意見、ご質問をいただきますようお願いいたします。

○職務代理あいさつ

2月に駅前交流テラスすわっチャオで四賀小学校6年生が2045年問題を、諏訪市の行政の方から沢山、こんなことが起こる、人口減少でこうなるという話を聞きました。そこで6年生達が、このままではヤバイ、諏訪市はどうしたらいいのか、自分たちも諏訪市民の一人として考えようと、いっぱい色々なことを考えて発表しました。小学生が、自分たちも諏訪市民の一人という所でアイデアを出していました。本日お集りの皆さんは、市民として任を担っている方々だと思います。この会では、行政がどのようにしてスマートに施策を実行できるかを問う会議になります。私達も市民としてできることをやらなければならないなど感じています。よろしくお願いいたします。

6. 議 事(議長:会長)

・報告事項

(1)第六次諏訪市総合計画について(資料2) (事務局説明)

(2)行政改革に係る庁内推進体制について (事務局説明)

・庁内推進体制(資料3)

・諏訪市公共施設等総合管理計画(資料4)

・業務スマート化プロジェクト(資料5)

(3)組織・職員配置について(資料6) (事務局説明)

<質問・意見等>

○委員

今までの行政改革推進委員会と(行政事務改善委員会と情報化推進委員会が)今回、統合することの関わりの説明をお願いしたい。

○事務局

これまで行政事務改善委員会は、行政改革大綱に定められた事項の進捗管理等を行っていた。行政改革大綱が令和4年度から第六次総合計画に組み込まれたことで、総合計画としての進捗管理、効果検証に移った。行政改革推進委員会は、総合計画の「行政経営」の「スマート化」で引き続き取り組んでいく。何か変革をする、大きな新たな計画を作る時は、行政改革推進委員会にご意見を伺うため開催する。大きな変革がない場合は、基本的には令和5年度からの取組は、行政改革推進本部、業務スマート化推進委員会で対応する。庁内組織の中に、行政改革推進委員会を位置づけて皆様に重要事項等の審議をしていただきたい。今までは、総合計画の外部評価をこの委員会に報告していた。

○会長

今後、定期的に来るのではなく重大なことがあるごとに集まる。これは、諏訪市だけではなく様々な所でもそういう状況を作り上げてきている。広域連合等でも同じような状況があれば、広域のほうでやったほうがスムーズという議論が相当出て来ると思う。諏訪市では、行政改革推進委員会を重要な時期に開催する。

○委員

行政改革とスマート化は表裏一体であって、行革を進めるにはスマート化が重要であろう。(すわなびで)病院の位置を見たが、子どもが熱を出したらどこに行ったらいいか、言葉を入力して3つ位候補が出ると使いやすい。スマート化が市民目線か、方向性が正しいか、各所から委員が出ているからその周りで使いこなして、どこをどう変えていくと実際に使えるか、スマート化を推進させるとともに、どこにお金を投入していったらいいのとかか。広域や他の市と協力して作る、今後の変化が分からないからとりあえずこのアプリを使っていこうとか。それを後押しできる委員会とか行革の役割と思う。何か重大なことが起こったから集まるよりも、ある程度宿題や課題を出していただき、使ってみてどうかをキャッチボールできる会になると非常に役割として重要ではないか。

○事務局

先ほどの地図は、来年度に始まる電子母子手帳アプリ「母子モ」に病院の情報があるので、支援するため先行整備した。他のシステムとの連携でより使いやすく、市民目線に立って進めたい。

○会長

委員がおっしゃったことは今、日本全体で問題になっている。人を増やす訳にはいかない、この部門が新しくできたところへ人を投入するわけですから。また、金をそこに集中させる訳にはいかないということはいっぱいある。今の日本の中でも広域で請け負うシステムができつつあり、流れが変わっている。そういうところも勉強していただきたい。茅野市でそれが始まっているから参考にしてもらえたらいい。

○委員

今の子どもは、コロナの状況下で生まれてきたお子さん達ばかりで、新聞や報道でもあるようにマスクで顔が見えないことからコミュニケーション不足が多くある。子どもさん達がまず今後の諏訪の将来を支えていく人材であり、引き留めるための諏訪市であって欲しい。子どもがここに留まることができない市であれば、人口流出のためにどんどん県外に出てしまうので、住みやすい諏訪市を今後検討していただきたい。

○委員

大綱から総合計画に一元化することは、抵抗はない。行政改革を推進するに当たって、市役所の取組と我々が意図していること、我々が要望していることに同じ方向性があるのかないのか、フィードバックする決めがなければ、役所のスマート化に一方的に流されるということになる。キャッチボールができる機関として、この会議があるということにしていかないと、行政改革の方向性がブレた場合に困る。DXについて経済という点からすれば、いろいろな意味でDX化をして情報が一元化されることは大変望ましいことで、方向性とすればありがたい。

「すわなび」に旅館、宿泊施設等の情報が入っていたが、交通の情報も入れておくべき。かりんちゃんバスの時刻をアップしてほしい。施設のある場所への移動も併せて載ってほしい。

○事務局

先ほどのキャッチボールについては、市がいいと思っているものが市民、観光客の方の要望しているものと一致するのか方向性を確認する必要がある。何らかの方法を考えたい。かりんちゃんバスの情報はオープンデータで提供するものを長野県が作って先日納品された。観光客、市民の利便性が高いツールとして提供したい。

○委員

「すわなび」は、リアルタイムでの災害時の更新はあるか？

○事務局

現在は、市民向けには運用をしていないが、システム上はできる。職員が情報を集めて手入力をして、情報が正しいかどうか確認をする必要がある。受けた情報をそのまま出すと噂や間違った伝わり方をする可能性があり、本当のリアルタイムでは今はできない。

○事務局

防災に関しては、大きな課題。SNSが発達しているのでSNSに情報が飛び交うが、SNSだと信用性が分からない。市として確実な情報を流せることが重要。本部で収集した情報を確認してOKであればそれを出せる仕組みを考えていくのが大きい課題であり、災害ではなるべく早く出せる職員のスキルも必要になってくる。前向きには考えたい。

○委員

実施済みというところで、ミライロ、障害者手帳アプリがあるが、市民の受止め、何を与えたかではなく何を受け取ってもらえたかを大事に考えてもらいたい。障害者手帳をミライロが担っているということを周知できていないと思う。やっているではなく、市民に行き届いているかどうかを確認してもらいたい。これだけではなく、周知という面ではどんなことでも課題があると思うので検討いただきたい。

○委員

業務をスマート化するとその都度、市は新しい情報を常にメンテナンスしながら取り組んでもらいたい。最終的に、市民サービスにつながるかどうかというところを常に吟味していただければありがたい。

○委員

最初に職務代理から、小学生が自分の市に危機感を覚えたという話を聞き、小中学生の教育の一環ではなく自分の市を考えていく、将来の育成のためにもぜひ、小中学生、高校生ぐらいの意見がこういうところに入ってくるとよりいい。行革の中に自分達の意見が、反映される場があればよりいい。この会議ではなくてもいい。それが、この市に住みたくないと言って流出することの防止にもなると感じた。

○委員

お取引先を回っていると企業さん、業種を問わず、皆さん人材不足で仕事はあっても人がいなくてなかなか仕事ができない話が多い。諏訪市に限ったことではなく日本全国どこもそうだと思う。業務のスマート化を進めていただいている。おそらく、いろいろな行政でも生産性を上げたり、効率化を図ったりしていること、無駄なことを排除して、無駄なことをやらない、そういう面で人的資源を捻出して新しい施策を作り行政として取り組んだり、そ

ということが将来目指されると思う。効率化あるいは業務のスマート化を図る中で、ぜひ諏訪市が活性化するような新しい施策の方に人的資源が配分される方向性を見据えながら強力に進めてほしい。

○委員

SDGs等を自分たちの足元から勉強しているが、今、社会を変えていかないと未来の子ども達が色々な物を背負われることは、とても恐ろしいと思っている。スマート化して色々な問題を見直し、良い世界を子ども達に渡していけると思う。スマート化されていく時に、ITをうまく使えないお年寄りが必ずいる訳で、そういう人達を一人も取り残さないで対処していただけたらいい。スマート化は、将来にとっても大事なことだと思うので、諏訪市も色々考えてやっていることが良く分かったので、何かできることがあれば協力したい。

○委員

情報が水の流れとすれば隅々まで流れるように工夫されてはいるが、その情報の蛇口を開けられない高齢者の方の話があったが、そういう方のフォローをきめ細やかにしていかないと、情報を求められないと結局は活用できないことになりかねない。スマート化して良いことはたくさんあると思うが、スマート化してはいけない部分、顔と顔がつながるといところ、地域の中で安心感を置くのが言葉を掛け合うところとなる。その辺は工夫の中に加えてほしい。

○職務代理

何十年も前に諏訪市がまだまだ豊かな頃に、よく市民が全ての事を「それは行政がやることだ」と言っていた。いまだに「それは行政がやることだ」と言う方もいるが、今起こっていることを自分事として、我が事として考えた時に市民としての務めを行政側が言うとは反感をくらうと思うので、私達皆で、色々な団体から出ていますので私達と一緒に考えていこうという立場ができればいいと思う。その1つが、行政改革推進委員会だと思うので、キャッチボールをしながら、市民の側にも同じ形をとっていただけたらいいと思う。

—以上質問・意見等なく、一同了承を得る—

7. 今後のスケジュールについて（事務局説明）

議事の中で、今後の委員会は何か変革をする、大きな新たな計画を作る時に開催するというご説明を冒頭にしましたが、行革の取組についてキャッチボールする機会が必要など、貴重なご意見をいただきました。委員会の開催については会長と相談してお知らせしていくこととさせていただきます。

8. 閉 会（前田部長）

本日はお忙しいところ委員各位ご出席いただきまして、貴重なご意見をありがとうございました。行政の取組の中でも行政改革という言葉とスマート化という言葉を使っていますけれども、時代とともに変わってきておりまして、その中で市が取り組んでいることを市民の皆さんに知っていただく場面でこの会議が有意義なものであると思っております。一緒に考えていくところの視点を一緒に持っていただくということで、引き続きこの会議の中で私達の取組に対して、ご意見を賜りたいと思っています。どのような形で開くか会長とも協議していきます。今日は貴重なご意見をいただきました。行政として“やっています”ということが多いですが、それをいかに伝えていくかという非常に難しい命題がずっとありますけれども、そうしたことを共有できる人たちを一人でも多く増やしていくということでこの会議の意味があると思っています。引き続き皆様のご協力をお願いし、閉会のご挨拶とさせていただきます。本日は、ありがとうございました。